

3. 相互直通運転による利用動向分析

(1) 分析の前提

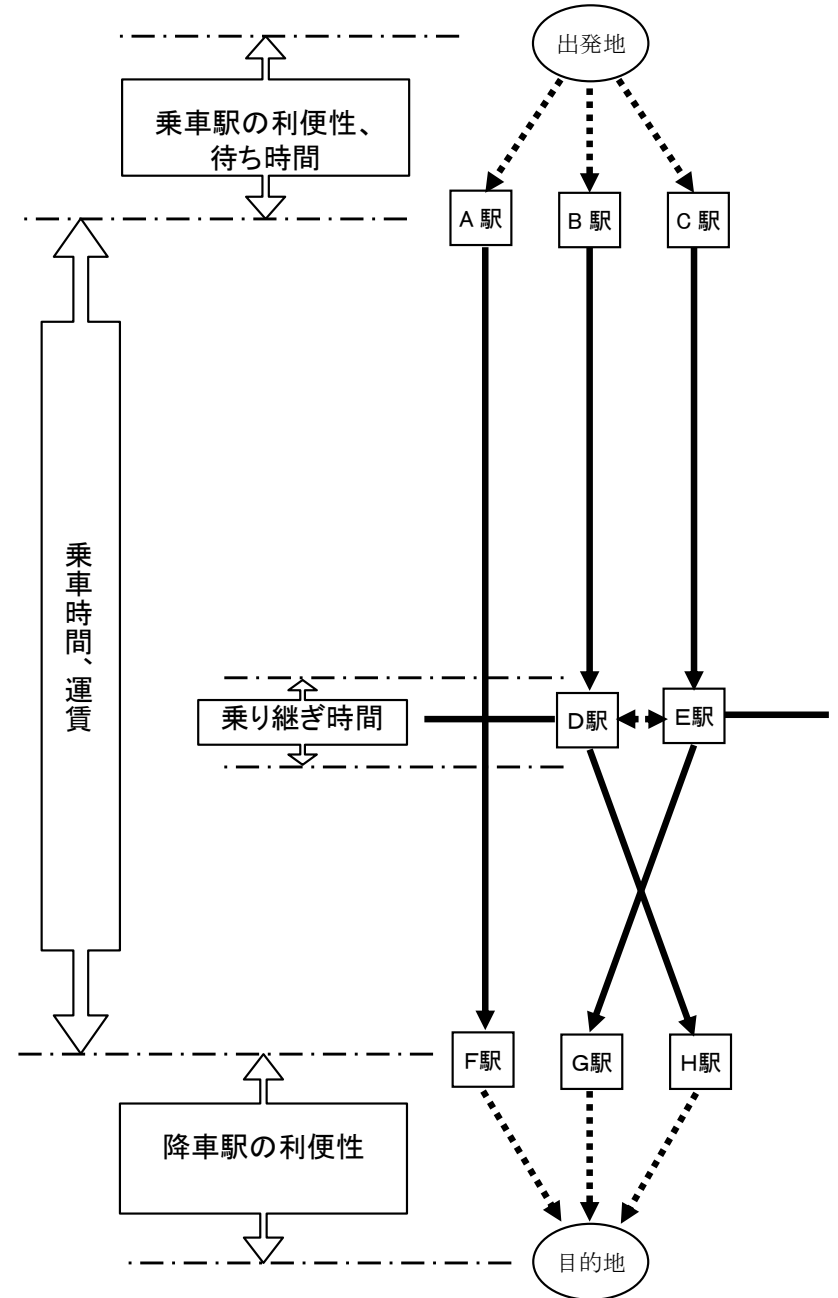
◇ ケース設定

		直通運転なし	直通運転あり			
			ケース0	ケース1	ケース2	ケース3
ケース概要		・京葉線(武蔵野線)とりんかい線との相互直通運転なし	・京葉線(武蔵野線)の一部をりんかい線に乗り入れ相互直通運転を実施	・京葉線(武蔵野線)を増便し、相互直通運転を実施	・ケース1で、りんかい線の運賃体系をJR運賃体系並みに設定	・ケース3+ケース2で、相互直通運転を増便させるケース
鉄道ネットワーク		現況鉄道網 +上野東京ライン +山手線新駅 +日比谷線新駅 +神奈川東部方面線	同 左	同 左	同 左	同 左
相互直通本数	新木場駅におけるりんかい線大崎方面	現状と同じ	・ピーク時 3本/時 ・オフピーク時 0~2本/時	同 左	同 左	・ピーク時 6本/時 ・オフピーク時 0~4本/時
	区間運本数(現状に対する増減)					
京葉線(武蔵野線)	東京~新木場	現状と同じ	・ピーク時 3本/時減 ・オフピーク時 0~2本/時減	現状と同じ	・ピーク時 3本/時減 ・オフピーク時 0~2本/時減	同 左
	新木場~蘇我	現状と同じ	同 左	・ピーク時 2本/時 ・オフピーク時 0~1本/時	現状と同じ	・ピーク時 2本/時 ・オフピーク時 0~1本/時
	新木場~武蔵野線区間	現状と同じ	同 左	・ピーク時 1本/時 ・オフピーク時 0~1本/時	現状と同じ	・ピーク時 1本/時 ・オフピーク時 0~1本/時
りんかい線	現状と同じ	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左
運賃体系	りんかい線大崎~新木場	現状と同じ	同 左	同 左	JR線並みの運賃体系に準じる	同 左

(参考)

分析手法 (ネステッド型の鉄道経路選択モデル)

- 各鉄道経路の選択確率を、出発地から目的地までの各経路について、「乗車駅の利便性」や「待ち時間」、「乗車時間」や「運賃」、「乗り継ぎ時間」、「降車駅の利便性」等のサービス水準に基づき算定。



3. 相互直通運転による利用動向分析

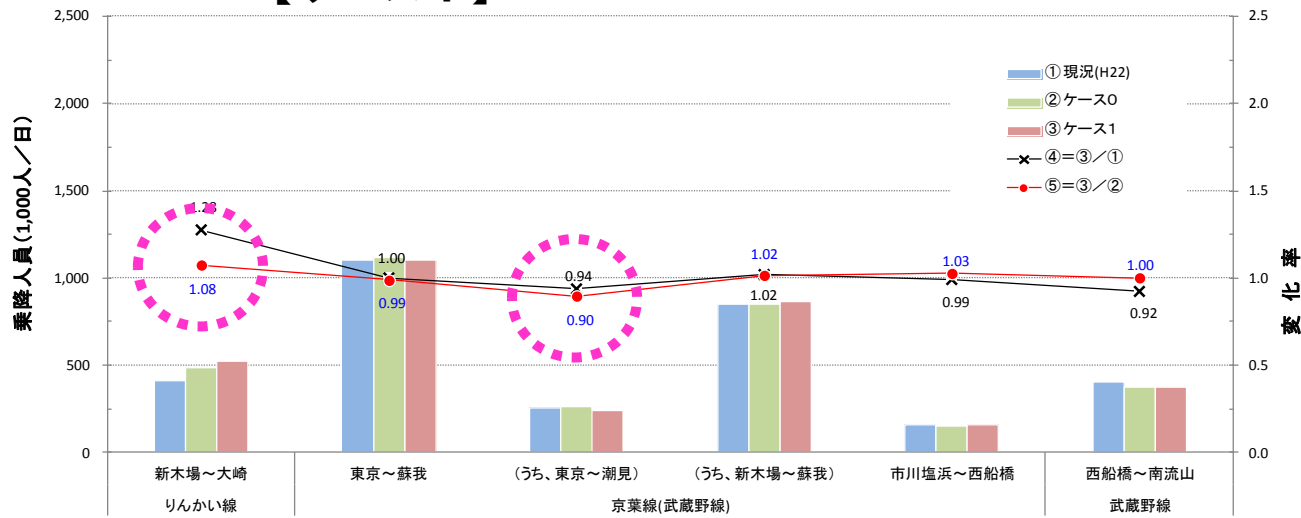
(2) 利用動向分析 <路線別乗降人員の動向>

1) 相互直通運転の影響

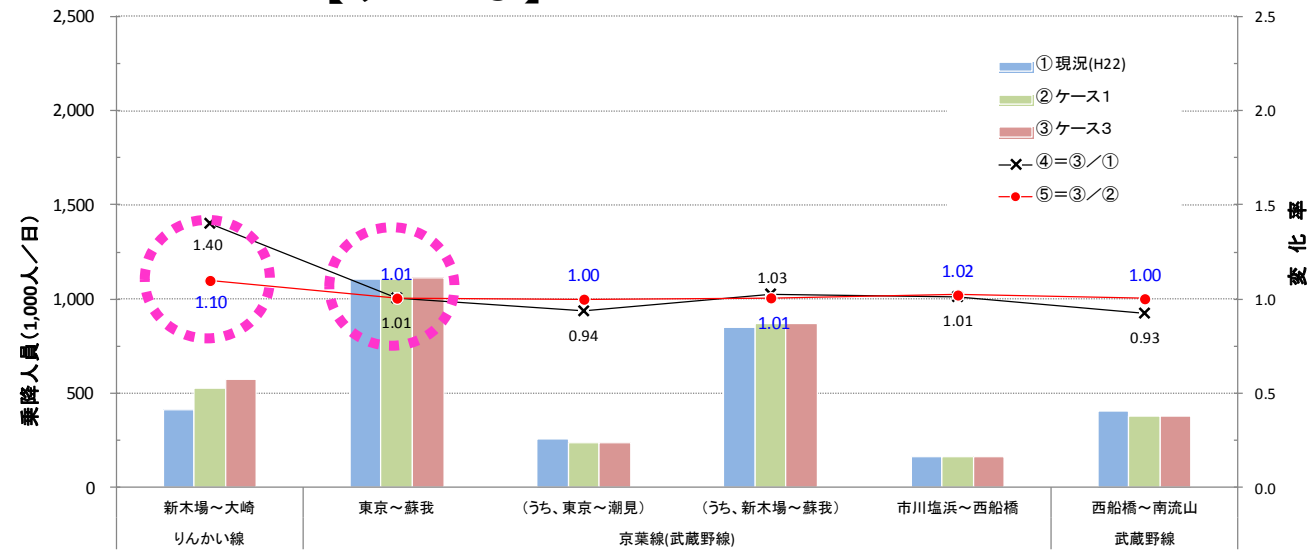
- ・ **ケース1** :りんかい線の乗降人員は、相互直通運転のないケース0に比べ約8% (約37,000人/日) 増加、JR京葉線(武蔵野線)の東京駅～潮見駅区間では約10% (約27,000人/日) の減少。
- ・ **ケース2** :りんかい線の乗降人員は、約7% (約34,000人/日) の増加、JR京葉線(武蔵野線)の運行本数が増加する新木場駅～蘇我駅間では約2% (約18,000人/日) 程度の増加、東京駅～潮見駅間各駅合計では約3% (約7,000人/日) の減少。

- ・ **ケース3** :りんかい線各駅合計の乗降人員は、ケース1に比べ約10%増加(約52,000人/日)、JR京葉線(武蔵野線)も約1%の増加。運賃体系の影響とみられる。
- ・ **ケース4** :りんかい線の乗降人員は、ケース3に比べ約1% (約8,000人/日) の増加に止まった。

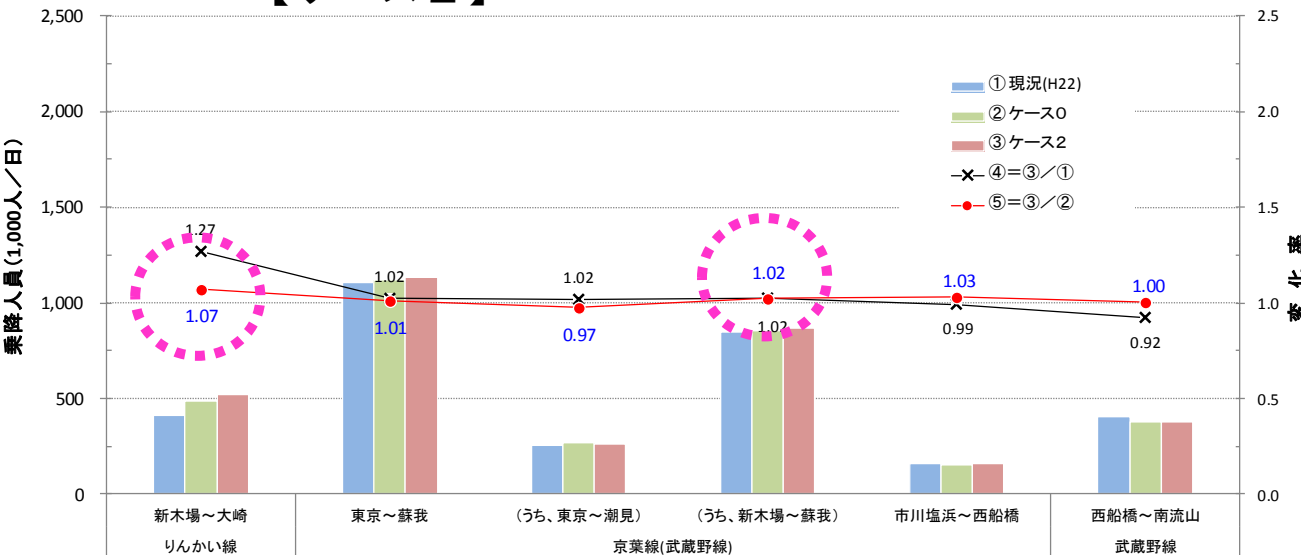
【ケース1】



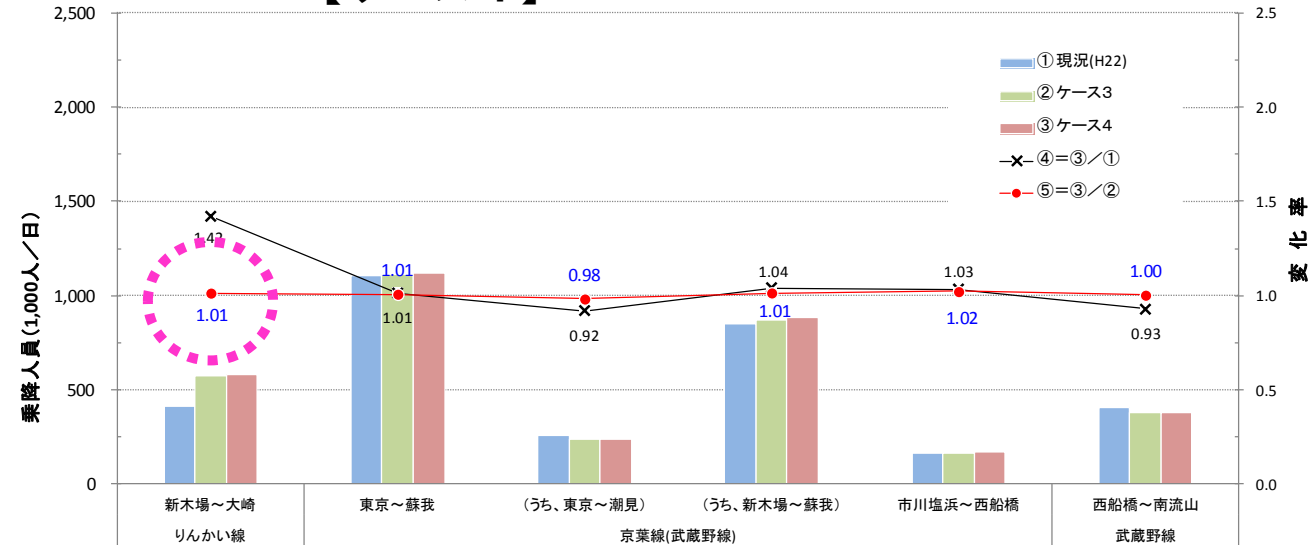
【ケース3】



【ケース2】



【ケース4】



3. 相互直通運転による利用動向分析

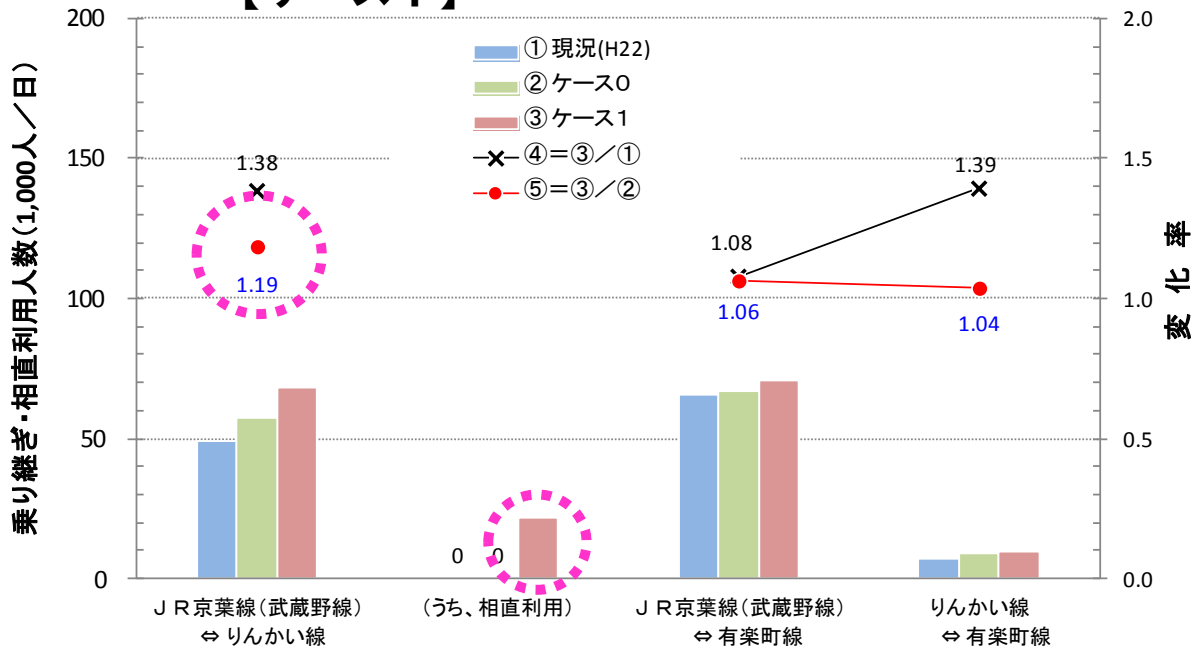
(2) 利用動向分析 < 乗り継ぎ・相互直通利用人数の変化 (新木場駅) >

1) 相互直通運転の影響

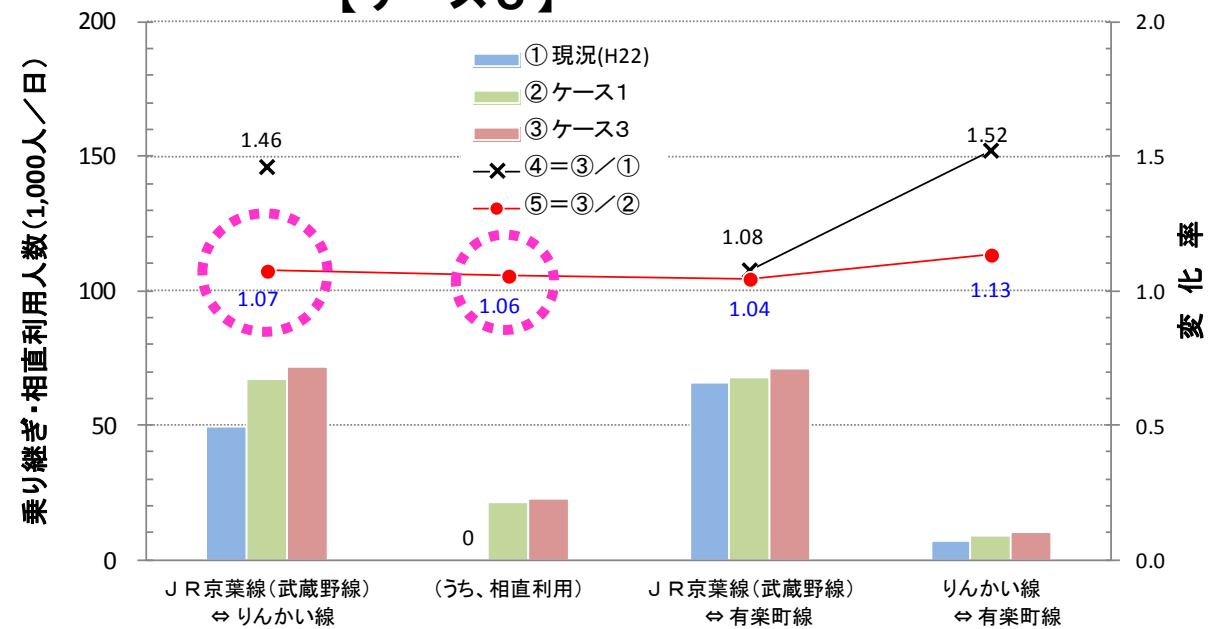
- ケース1** : JR京葉線(武蔵野線)⇔りんかい線利用者数は、ケース0に比べ約19%(約11,000人/日)の増加。JR京葉線(武蔵野線)⇔有楽町線等の乗り継ぎ人数も増加。
 JR京葉線(武蔵野線)⇔りんかい線利用者数のうち、相互直通利用人数は約32%(約22,000人/日)と推計。
- ケース2** : JR京葉線(武蔵野線)⇔りんかい線利用者数は約17%(約10,000人/日)の増加。このうち、相互直通利用人数はケース1より若干少ない約32%(約21,000人/日)と推計。

- ケース3** : JR京葉線(武蔵野線)⇔りんかい線利用者数は、ケース1に比べ約7%(約5,000人/日)の増加。りんかい線⇔有楽町線等も増加。
 JR京葉線(武蔵野線)⇔りんかい線利用者数のうち、相互直通利用人数は約32%(約23,000人/日)と推計され、ケース1より約7%(約1,000人/日)多くなると推計。
- ケース4** : JR京葉線(武蔵野線)⇔りんかい線利用人数はケース3に比べ約5%(約4,000人/日)の増加。このうち、相互直通利用人数は約61%(約46,000人/日)と推計。ケース3の約2倍(約24,000人/日増)と推計。

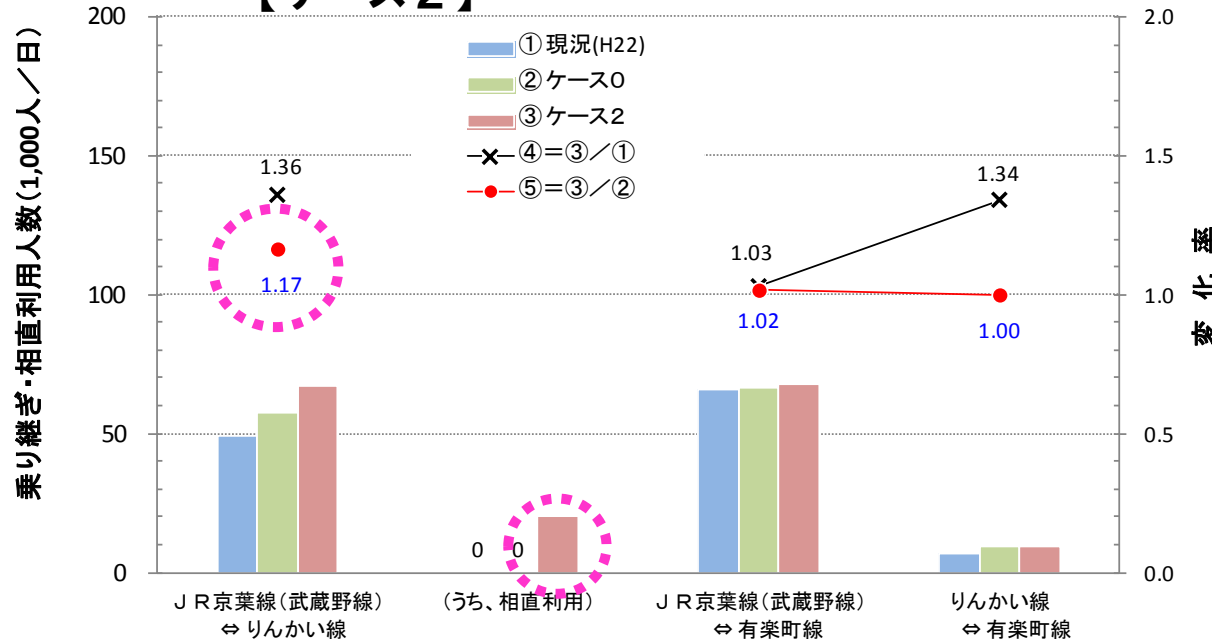
【ケース1】



【ケース3】



【ケース2】



【ケース4】

